

# 体験を通して友だちとの絆を深めました

— 高3組 茨城 —



高等部3組 相川 佳樹

私たちは、修学旅行で、茨城県に行きました。私は、おわん作りをしたこと、水ぞくかんでイルカのショーを見たこと、ひたち海浜公園でアトラクションにのったことが楽しかったです。おわんづくり、むずかしかったけどじょうずにすることができたと思います。イルカのショーでは、イルカがジャンプするのがすごかったです。水しぶきがはげしかったです。アトラクションは雨の中だったけどジェットコースターがスリルがあってとても楽しかったです。

高等部3組担任 吉田 恵理

10月20日(水)～22日(金)に、茨城県へ修学旅行に行ってきました。初日は、笠間工芸の丘で、陶芸体験を行い、フォレストパークメロンの森では、メロンの試食とメロン狩りをしました。メロンは「おいしい」と口々に感想を話していました。2日目のアクアワールド茨城県大洗水族館では、イルカショーを見ました。大迫力のイルカのジャンプに釘付けでした。最終日は、那珂湊おさかな市場で、海鮮丼など新鮮な海の幸に舌鼓しました。様々な体験を通して、茨城県の良さに触れながら、友だちと協力して過ごすことができました。

# あすなろ新聞

第117号

令和4年3月1日  
群馬大学共同教育学部  
附属特別支援学校

## 修学旅行

### みんなでつくりあげた修学旅行

— 中3組 富岡・安中・北軽井沢 —

中学部3組 古屋 悠希

修学旅行で、群馬サファリパークとしぜんしはくぶつかんと鉄道文化むらに行きました。一番の思い出は鉄道文化むらでの思い出です。色々な鉄道を見たり、乗ったりしました。たくさん写真もとったり、みんなでポーズもしました。買ったかったお土産も買えました。他にもフランス料理を食べたり、ライオンのエサやりもしました。行き先がへんこうになったり、ひにちもへんこうしたけど、楽しい修学旅行でした。中3組のみんなと行けて、良かったです。

中学部3組担任 元井 優気

12月9日(木)～10日(金)に、修学旅行に行ってきました。初日は、群馬サファリパークに行きました。餌やり体験では、目の前にライオンが来るとみんな大興奮でした。手をかじられないようにと慎重にトングで餌やりができました。夕食のフランス料理は、フォークとナイフに挑戦し、苦戦しながらもマナーを意識して食事することができました。2日目の碓氷峠鉄道文化むらでは、たくさんの車両に囲まれ、写真を撮ったり、DLアプトくんに乗って園内を回ったりと楽しい時間を過ごすことができました。自分たちで予定や時間を確認しながら行動し、群馬県の魅力を存分に味わう2日間となりました。



ふとくさい担当 林 和泉

今年度より、学校祭の名前を「ふとくさい」（附特祭）に変更しました。感染症予防の観点から、校内のみで開催しました。各学部がステージ発表を行い、小学部はポチッとくん体操、中学部は八木節、高等部はだんべえを楽しく踊りました。また、小学部はスタンプラリーとミニゲーム、中学部はフォトフレーム販売とコースター作り体験、高等部はハーバリウム作り体験、縫製班製品販売、箱折りとビルクリの実演など、各学部で実演・販売を行いました。図工・美術作品も展示しました。保護者の皆様、温かく見守っていただき、ありがとうございました。



# がんばった！楽しかった！ふとくさい



PTAふとくさい部 都丸 香代

今年度から「ふとくさい部」として参加し、スマイルボウリングというピン倒しゲームを企画しました。皆の応援の中、初めてやる小学部の皆さんはとてもかわいらしかったです。クラスの仲間と、とても盛り上がっていた中学部は楽しい教室の雰囲気が伝わってきました。高等部は本気モードで真剣に競っていて、落ち着いたしっかりした高等部を見ることができました。今回は、コロナ禍の社会に対応しての行事内容になり、クラス別に行われましたが、子どもたちの楽しい笑顔を見ることができました。実施に向けてPTAふとくさい部の方々、ご協力をいただきありがとうございました。



## みんなでお祝いをしました！

### — 新成人を祝う会 —

進路指導主事 今 泰幸

1月10日(月)に新成人を祝う会を行いました。感染症対策のため、新成人の卒業生と保護者の方、本校の教員のみで行いました。近況報告では卒業生の方から進路先で仕事をがんばっている様子を聞くことができました。また、卒業生の名前入りのお箸とお花をプレゼントしたり、フォトムービーで在学時の思い出を振り返ったりして、楽しい一時を過ごすことができました。



# 学びを生かし、自分らしく社会とかかわる児童生徒の育成 ～教科の学びと関連付けた「各教科等を合わせた指導」の授業づくり～

## — 第42回公開研究会 —

研究主任 橋本 和也

11月12日(金)に、オンラインビデオ会議ツールを活用し、公開研究会を開催しました。昨年と同様に、動画配信とオンライン研究会となりましたが、北は北海道から南は沖縄県まで、約150名の参加者と、よりよい授業に向けた意見交換を行い、実りある公開研究会となりました。配信した授業では、一人で、または友だちと一緒に自分から学ぶ姿や、課題の解決に向かって真剣に学ぶ姿をお伝えしました。研究会では、こどもたちの日常生活や将来につながるための授業について、多くの意見を交わすことができました。

小学部研究部 小島 靖弘

小学部では、言葉やものを介したやりとりをする力を高め、新しく出会う人とのやりとりを楽しむことをねらいました。講師や大学生と「おもちゃランド」を完成させ、友だちと遊びました。当初は、講師や大学生に近づきただけだった児童も、自分から呼びかけて遊んだり、作ったりする姿が見られるようになりました。



中学部研究部 小澤 航太

中学部「きれいな寄せ植えを作っ て届けよう」では、友だちや教員から要望を聞き取り、要望に沿って花の種類や並べ方を決めたり、依頼者が喜ぶように自分たちで出来栄を見直したりして、寄せ植え作りを行いました。要望に沿った寄せ植えを依頼者に届け、喜んでもらうことができました。



高等部研究部 山田 茅穂

高等部「安心・安全・笑顔のカフェを開こう」では、目的に合わせて活動を振り返ることをねらいに「カフェスマイル若宮店」の感染症対策を考えました。安心・安全なカフェを目指し、話し合いをしたり他者から助言を受けたりして、準備や接客を改善することができました。今後オープンした際には、ぜひご来店ください！



### 本校のICT活用

平岩 賢

GIGAスクール構想の実現に向け、本校でも、高速の通信ネットワークや一人一台端末の整備が行われました。そこで、今年度本校で行われた教育活動の中でICTを活用した場面をご紹介します。

小学部では、附属小との交流を感染症対策の観点からリモートで行いました。その際、一人一人がそれぞれのタブレット端末を用いて、少人数のグループの友だちと交流を行いました。人数を絞って交流したことでお互いをより意識し合うことができ、名前や顔を覚えることができました。



中学部の作業学習では、園芸班が依頼を受けて寄せ植えを作りました。その際、依頼者と作業場所とをオンラインでつなぎ、花の種類や向き、並び方などを確認してもらうようにしました。こうすることで、即時的にフィードバックをいただくことができ、また、依頼者の顔が見えることで、相手のために製品を作るという意識を高めることができました。



### 友だちになって仲を深めました!

— 宇都宮大附属特別支援学校との交流 —

草畑 和江

同年代の友だちとリモートで交流を行いました。はじめに、自己紹介をしました。小学部では、お互いにダンスの発表をしました。本校は「ポチッとくん体操」を行い、たのしい、おもしろいなどの感想をもらいました。中学部では、お互いの学校について紹介しました。事前にプレゼンソフトで作成した動画を使って紹介しました。高等部では、両県の特徴や特産品など、調べたことをプレゼンしました。発表や紹介を見て感想を伝え合い、交流を楽しみました。



# 卒業おめでとう

## －担任から－

小学部3組担任 小島 靖弘・横堀 莊子・小野みやび

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。期待と不安で迎えた入学式から6年が経ちました。この6年間で友だちと一緒にたくさんのことにチャレンジしてきました。特に高学年になってからの皆さんの頑張りはすばらしかったです。友だちに優しく声をかけ一緒に頑張る姿、苦手なことも諦めずに何度も挑戦し、そして一つずつ乗り越えていく姿はとても頼もしかったです。中学部でも皆さんらしさを発揮して活躍してください。応援しています。

## 小学部



## －保護者から－

小学部卒業生保護者 須賀 尚子

小学部の充実した日々もあっという間に過ぎ、卒業を迎えることができました。不安と期待の中で迎えた入学式がつい昨日の日のように思われます。マイペースな息子ですが、日々の授業や様々な行事を通して少しずつ成長できたと感じています。特に修学旅行は、かけがえのない楽しい思い出となりました。息子が人と関わる楽しさを知ることができたのは、先生方、お友達、保護者の皆様が、常に温かく接してくださったおかげです。ありがとうございました。4月から中学生になりますが、小学部で学んだことを活かし、新たな経験を積み、笑顔で過ごしてほしいと願っています。6年間大変お世話になりました。

## －担任から－

中学部3組担任 元井 優気・金重 和也

中3組の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした今日までの日々はとても楽しく思い出に残るものばかりでした。お互いに励まして一緒に乗り越えた就業体験、自分たちで作り上げた修学旅行などたくさんの思い出がありますね。行事や授業に真剣に取り組む姿は、とても頼もしく、カッコよかったです。4月からは高校生です。不安と期待の気持ちがあるかと思いますが、中学部で学んだことを活かして、精一杯頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています！

## 中学部



## －保護者から－

中学部卒業生保護者 一楽 理子

学校生活のペースを掴むことが難しい3年間でした。1年生では実習や新しい行事を乗り切りました。昨年度はコロナ禍で行事が減り自宅時間が増えました。今年は徐々に行事ができるようになり、毎年違う流れの中で、その都度戸惑い混乱していました。先生方や友だち、保護者の方々に温かく支えて頂き心より感謝しています。ことばを交わさなくてもニコツとして手を挙げ合う友だち、岳のことばを拾って一緒に楽しんでくれるクラスの中で、ことばのやりとりも増えました。お陰で成長できた実感しています。これからも、社会に出られる力をつけていけるよう親子で頑張りたいと思います。ありがとうございました。

## －担任から－

高等部3組担任 吉田 恵理・山崎 隆史

高等部3組のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんと過ごした日々は、楽しくてあっという間でした。友だちや後輩に優しく声を掛ける姿や、毎日の学習や行事に真剣に取り組もうとする姿、先輩らしく成長する姿には頼もしさを感じました。

いよいよみなさんは、4月から社会人ですね。友だちと一緒に過ごしてきた日々を大切に、社会人として頑張ってください。応援しています。

## 高等部



## －保護者から－

高等部卒業生保護者 相川のり子

小学部で入学して早いもので12年が過ぎました。大きなランドセルを背負い期待と不安でいっぱいだった入学式が昨日の日のようです。今では心身ともに成長し、4月からは社会人になります。たくさんの先生方やお友達、保護者の方々に支えていただきながら様々な経験をさせていただきました。楽しいこともたくさん。涙したこともたくさん。すべてが良い思い出です。そしてそのすべてが息子を大きく成長させてくれました。皆様とこの12年間に感謝です。本当にありがとうございました。群大附属で培ったことを糧に社会人になっても頑張って、素敵な大人になってほしいと思います。



あすなる新聞に携わること数年、高等部最後の年に編集後記を書かせていただくことになりました。以前の記事を読みながら、これまでの楽しかったことや頑張ったこと、お世話になった方々との思い出が心に暖かく浮かんできます。きっとこの先何度も懐かしく思っは読み返してしまうことなのでしょう。皆様にとってもあすなる新聞がそんな存在になってくれるとうれしいです。

広報部 関口 陽子